

○ 築 50 年超の戸建て対象に火災保険審査を厳格化 東京海上日動（23/5/23 日経朝）

- ・ 東京海上日動は築 50 年超の戸建ての審査を代理店に任せず、自社で契約条件を決める運用に切り替えた。対象の住宅の経年劣化の進み具合によっては、免責金額を設定したり、保険金を上乗せして受け取れる特約を付けられなくなったりする対応をとる。災害の多発で損保大手の火災保険は 2023 年 3 月期決算で 13 年連続の赤字となった。大手各社は収支改善のために、24 年度に火災保険料を 1 割超引き上げる見通し。
- ・ 火災保険料は建物の構造や築年数などに基づいて決まる。本来なら壁のひび割れといった経年劣化の状況を現地で確かめる必要があるが、業界では代理店が確認しないまま引き受けることも多かったという。
- ・ 東京海上は築 50 年超の戸建ては経年劣化が進んでいる可能性が高いと判断。新規契約の際に対象物件の写真を代理店から提出してもらい、現地の課支社長が契約条件を決める運用に改めた。既に契約している建物の更新は受け付ける。
- ・ 古い住宅の審査を厳しくする背景には、不正請求業者の存在もある。劣化が進んでいる物件は不正請求のターゲットになりやすく、保険金の支払いがかさめば、結果として新築などリスクの小さな契約者の保険料負担が増えかねない。
- ・ ただ、火災保険は社会インフラの要素が強いため、古い住宅でも引き受けを断ることはしない。同社は新たな運用開始に当たって、社員に対し、引き受けを拒絶したり過度に厳しい条件を付けたりするといった対応を避けるよう通知した。
- ・ 審査の厳格化や保険料値上げによって、早期に火災保険の収支が黒字転換できるかは不透明。損保各社はデジタル技術の活用によって業務を効率化し、損益分岐点を引き下げる必要がある。防災や減災の取組にも経営資源を割き、結果的に保険金支払いの抑制につなげる努力も求められる。

○ 自動車保険値上げ 来年 4 年ぶり、物価高で修理費増（23/5/27 日経朝）

- ・ 損保大手各社は 2024 年に自動車保険料を引き上げる方針。自動車の安全性向上に伴う交通事故の減少で保険料は下がってきたが、インフレの影響で車両の修理費や人件費が上がっており、4 年ぶりに上昇に転じる。上げ幅は 3%を超える可能性があり、家計の負担は増すことになる。
- ・ 具体的な上げ幅を今夏ごろに決め、24 年 1 月以降の契約分から適用する見込み。インフレで自動車の部品価格が上昇し、自動車の整備業者に払う修理代金が上がっている。自動車の高性能化やコロナの行動制限が解けたことで事故が増え、保険金の支払いは増えている。22 年度大手 4 社の自動車保険正味支払保険金は合計で前期比 11.5%増の 1 兆 9714 億円だった。
- ・ 損害保険料率算出機構によると、22 年 3 月末時点の自家用普通乗用車の保有車両数は約 2 千万台。自動車保険を付けている割合は 8 割程度と普及率は高く、保険料の負担増が多くの国民に広がることになる。

○ 自動車業界向け「コネクテッドカーサイバー保険」の提供開始

東京海上日動（23/5/31 ニュースリリース）

- ・ 東京海上日動は、一般社団法人Japan Automotive ISAC（以下「J-Auto-ISAC」）と共同で、J-Auto-ISAC 会員向けにコネクテッドカーサイバー保険団体制度を創設し、2023 年 6月より「コネクテッドカーサイバー保険」の提供を開始する。
- ・ 昨今サイバー攻撃の手法は高度化・巧妙化しており、「サプライチェーン攻撃」と呼ばれる中小企業を踏み台にして大企業を狙った新たな攻撃が顕著になってきている。一方、自動車産業においては、コネクテッドカーや自動運転等の新たな分野で技術革新が加速し、それに伴い、WP29（自動車基準調和世界フォーラム）等の国際基準が整備され、既に我が国では昨年 7月からコネクテッドカーに係る新たな法規制が施行されている。
- ・ 2021 年 2月に、自動車業界においてコネクテッドカーのセキュリティに取り組む業界団体として J-Auto-ISAC が創設され、自動車メーカーや主要サプライヤーを中心に会員数は 100 社を超えている。これらの動きを踏まえ、東京海上日動と J-Auto-ISAC は、自動車業界向けの新たな保険商品を共同開発し、同団体の会員企業向けの団体保険制度を創設することにした。
- ・ 本保険制度は、コネクテッドカーがサイバー攻撃を受けた際等に発生する初動対応に要する各種費用や損害賠償責任等の補償を、一定のセキュリティレベルをクリアした J-Auto-ISAC の会員企業向けに提供するもの。市場で流通、使用されている車両で、サプライヤーが納入した車載製品の脆弱性が原因で、コネクテッドカーがサイバー攻撃を受けた場合、その初動対応に必要となる各種費用等を支払う。
- ・ 支払う主な保険金は、発生原因や被害範囲を調査するための費用、インシデント発生時の専門家への相談費用（弁護士費用、コンサルティング費用、風評被害拡大防止費用）や社告費用、納入先等に対する法律上の損害賠償金。
- ・ 会員は、速やかに初動対応に着手することができるとともに、初動調査等の費用の全部または一部の負担を低減することができる。また、会員のサイバーセキュリティ対応への意識向上と情報共有を通じて、業界全体のサイバーセキュリティ対応能力の強化・底上げに繋げていく。

○ 中堅・中小企業向け情報提供サイト「MS コンパス（Mirai Solution Compass）」の開設

三井住友海上（23/6/1 ニュースリリース）

- ・ 三井住友海上は、中堅・中小企業が抱える、さまざまな経営課題の解決をサポートする情報・サービス提供サイト「MS コンパス（Mirai Solution Compass）」を開設した。当社は本サイトを通じて、中堅・中小企業とデジタルを活用した接点強化を図り、経営課題の解決に役立つ情報やサービスを提供していく。
- ・ 国内には約 360 万社の中堅・中小企業があり、国内企業の 9 割以上を占めている。日本の雇用の約 7 割を支えている中堅・中小企業のさらなる成長は、地域の活性化ひいては日本経済の発展に大きく寄与する。また、近年の異常気象に伴う大規模な自然災害や社会の急速なデジタル化等、企業を取り巻く環境は日々変化しており、中堅・中小企業が抱える経営課題も千差万別となっている。このような環境下では、時代の潮流に合わせたスピーディな情報取得が必要となることから、本サイトの開設に至った。
- ・ 概要は以下の通り。
 - （1）経営に資する情報発信 ①ビジネスニュース：人事労務やサイバーリスク等、旬なテーマに沿って企業がとるべき対策や有識者による解説等をニュースとして発信する。②セミナー情報：経営者の関心が高いテーマを

取り上げたセミナーの開催案内を発信する。【テーマ例】トラック運送会社の 2024 年問題・賃金制度／越境 EC（海外通販／働きやすい職場づくり／ビジネスマッチング支援

(2) 経営課題の解決に資するソリューション提供：本サイトはオープンサイトだが、三井住友海上経営サポートセンターへの無償の会員登録を行うと、中堅・中小企業が抱える経営課題の解決をサポートする当社オリジナルのコンテンツがダウンロード可能となる。SDGs や脱炭素取組、働き方改革、健康経営等を掲載している。

(3) サービス照会や保険相談：7 月には、当社やグループ会社、提携事業者が提供するサービスへのお問い合わせや、当社代理店への保険相談等も本サイト上で可能にする予定。

○ 事業者向け保険『お仕事あんしん保険』の Web 提供をアスクル『ビズらく』経由で開始 損保ジャパン（23/6/1 ニュースリリース）

- ・ 損保ジャパンは、アスクルが運営する DX 支援サイト『ビズらく』経由で事業者向け保険『お仕事あんしん保険』の提供を 2023 年 6 月 1 日から開始した。
- ・ 日本におけるインターネットの利用状況は、スマートフォン等の利用率向上を背景に、個人・企業ともに高水準を維持しており、インターネットを介した電子商取引（EC）も増加傾向にあることから、今後も高い利用率が想定される。また、損保協会による中小企業におけるリスク調査によると、事業活動におけるリスク認識は高い一方で、リスク未対応の事業者は多くあり、中小規模の事業者においては特に顕著となっている。そこで損保ジャパンは、インターネット環境において、事業者向けに適切な情報提供を行い、最適な補償を提供する新たな仕組みが必要との考えから、事業者との豊富な接点・顧客基盤を持ち、事業者の DX を推進するアスクルと協力し、Web 上での簡単な手続きで加入いただける『お仕事あんしん保険』の提供をすることとした。
- ・ 『ビズらく』は、事業者が抱える業務に関する困りごとをデジタルの力で解決するアスクルのソリューション事業であり、事業者の DX 推進に必要な SaaS・通信商品およびサービスを販売する Web サイト。『ビズらく』では、アスクルが厳選した SaaS・通信商品およびサービスを取りそろえ、手頃な価格帯のオリジナル商品もラインアップしている。
- ・ 『お仕事あんしん保険』は、損保ジャパンの事業者向け保険商品である「ビジネスマスター・プラス（事業活動総合保険）」のペットネームであり、アスクルの顧客向けの保険となる。事業者のさまざまな賠償リスクを包括的に補償し、サイバーリスク補償も標準セットしたプランを用意している。
- ・ アスクルの顧客は『ビズらく』を介して、事業活動上のリスクの「自分ごと化」、『お仕事あんしん保険』のプラン内容確認、保険料シミュレーション、保険加入手続きまで、Web 上で簡単・シームレスに可能となる。
- ・ 事業者向けの SaaS・通信商品およびサービス等の EC サイト経由で、保険加入手続きまで完結する取り組みは業界初。『お仕事あんしん保険』を皮切りに、『ビズらく』サイトの特長を活かした事業者向けの「エンベデッド・インシュアランス（組込型保険）」商品の提供も、今後予定している。

以上